

2006年日本農業工学会シンポジウムのお知らせ

日本農業工学会

下記の通り、第22回日本農業工学会シンポジウムを行います。多数のご参集をお願い申し上げます。

日時：2006年5月12日（金） 13：30－16：30

場所：農業土木会館6階大会議室

東京都港区新橋 5-34-4

テーマ：食料生産エンジニアリングの新展開

趣旨：

増加する世界人口を養うためには食料生産の拡大が必要である。しかし、農地面積の拡大の困難さ、環境との調和、消費者との対話、安全な食料の生産など、現在の食料生産の現場は、様々な制約のもとに置かれている。「とにかく食料を増産すればいい」という時代を超えて、人類の健全な生存のための食料を得ていく時代を迎えている。

一方では、科学技術の進展によって、従来では不可能であったことが現実化している例は多い。様々な条件を満しつつ食料生産の拡大を目指すには、新たな科学技術の導入が不可欠である。本シンポジウムでは、食料生産の場での新たな技術の動向を探り、今後の食料生産エンジニアリングのあり方を考察する。

プログラム：

- | | | |
|---|------|---------|
| 1. フィールドサーバー | 平藤雅之 | (中央農研) |
| 2. ユビキタス環境制御システムによるインテリジェント 低コスト温室 | 星岳彦 | (東海大) |
| 3. 農地における土壌侵食問題と地域環境保全技術 －沖縄赤土流出問題に着目して－ | 大澤和敏 | (東工大) |
| 4. カオス・複雑系の生態情報学 －農工融合のアプローチ－ | 酒井憲司 | (東京農工大) |
| 5. 自然冷気を利用した新規貯蔵技術(超低温貯蔵)の開発 | 川村周三 | (北大) |
| 6. 総合討論 | | |

以上